

授業の明細	
具体的な行動達成目標	
各教員に配属し、与えられた課題について調査研究する能力を養う。具体的には、与えられた研究分野の文献等の調査を行い、調査結果を解析して当該分野の現状を把握して整理し、報告書を作成する。卒業研究での取り組み課題に関連する調査研究へ発展させる。	
教員	研究テーマ
福地 賢治	(1)吸着平衡(気相・液相)の実験法 (2)無限希釈活量係数の測定法 (3)燃料電池の作製および性能試験法
小倉 薫	(1)新規機能性分子の設計法 (2)新規機能性分子の合成法 (3)溶液内分子間相互作用
山崎 博人	(1)環境共生型高分子材料の合成法 (2)高機能性高分子材料の合成法 (3)物理化学処理を用いた応用化技術
根来 宗孝	(1)蛋白質の単離・精製法 (2)インターラクトーム解析法 (3)バイオセンサによる測定方法(グルコース濃度測定系)
中野 陽一	(1)アマモ場造成方法の比較検討 (2)ダム湖における貧酸素水塊改善方法の比較検討 (3)中海の森山開削による水質変動の影響について
廣原 志保	(1)ガン治療薬の合成と評価方法 (2)ガン診断薬の合成と評価方法
茂野 交市	(1)セラミックスの合成方法 (2)セラミックスの特性評価方法 (3)セラミックスの分析方法
高田 陽一	(1)界面活性剤の合成法 (2)界面物性の評価法 (3)コロイド分散系の調製法
三留 規誉	(1)タンパク質の定量・分析法 (2)タンパク質の精製法 (3)酵素活性の測定法
島袋 勝弥	(1)微生物の培養法 (2)タンパク質の取り扱い (3)顕微鏡観察法
杉本 憲司	(1)製鋼スラグによる基盤材料の実験法 (2)製鋼スラグによる基盤材料の評価法 (3)海草類の生育評価法
友野 和哲	(1)化学的手法による薄膜形成に関するゼミ (2)環境化学(リサイクル工学)に関するゼミ (3)析出物の評価に関するゼミ
総 授 業 時 間 数	
60 時間	